

こども発達学科リフレクション入試（面接重視型）課題

課題番号 A：小学校の教育に携わりたい人

新型コロナウイルス感染によって、学校生活は大きな影響を受けました。感染者が出ることによる学級閉鎖や休校、三密（密閉・密集・密接）対策によって授業をはじめあらゆる活動に制限がかかっていました。例えば、給食の時間では、全員が同じ方向を向き、一切発話をせず、黙々と食べる風景が珍しくありませんでした。一方で、タブレットの普及など DX（デジタルトランスフォーメーション）対応もすすみはじめています。

そこで、「コロナ禍による小学校の学校生活への影響と改善策」について、文献や新聞記事、信頼性の高いウェブサイトなどで調べ、自分の意見を交えてまとめてください。

課題番号 B：乳幼児や子どもの保育、支援に関わりたい人

幼児期の子どもの発育発達に「遊び」は非常に重要な役割があります。

幼児期の子どもにとって遊びが必要不可欠な理由、遊びが幼児の心身の発育発達にどのような影響を与えるのか？そして、どのような遊びが望ましいのか、この3点について述べてください。特に遊びの種類については、スポーツやオンラインゲームなども子どもの遊びとして適しているのか？具体的にどのような遊びや環境が望ましいのか具体的に述べてください。

課題番号 C：子どもの発達や心理、教育を学び、社会でいかしたい人

子どもは、養育者、テレビや本、学校の先生や授業などから、言葉や文字を介して様々なことを学びます。その一方で、実際にその場に行ってみる、手でじかに触れてみる、自ら遂行してみる、あるいは、その活動に参加してみることによって学びとることも多くあります。後者の「体験を通して学ぶこと」の大切さも、子どもの発達や学校教育を考える場でしばしば強調されます。

体験しながら学習する場面は、乳児の食事や着替え、幼児のお絵描きや園庭での遊び、児童の田植え体験や社会科見学、スポーツなど、日常的な活動にも特別な行事にもみることができます。具体的な知見や実体験を一つ取り上げ、「体験を通して学ぶ」ことの大切さについてあなたの考えをまとめ、1200字以内で述べなさい。